参考資料　1. 実践活動の企画書

1. ワークショップの目的

①教育会社で働く人に、「ファシリテーションスキルアップ・ワークショップ」としてプレイバックシアターを紹介し、純粋に楽しんでもらう。
②終了時のアンケートにより、参加者の感想や意見を収集し、今後の企業研修での実践を検討する材料とする。

2. 日時:

2009年1月23日（金）　19時～21時　　※スタッフは、可能な範囲で17時に集合して最終確認、意識合わせを行います。

3. 会場:

株式会社富士ゼロックス総合教育研究所（FXLI）　セミナールーム1
東京都港区六本木−1−1　六本木ティーキューブ14階　（総合受付14階）
アクセス：地下鉄南北線「六本木一丁目駅」より徒歩2分　（後日、地図をお送ります。駅のほぼ真上、1番出口からビルへ直通エスカレーターあります。）

4. ワークショップ対象者:

FXLIで働く人（正社員でも、派遣社員でもだれでもOK）

5. 運営スタッフ:

羽地先生、はなちゃん、宮ちゃん、ちえちゃん、丸さん、朝子、（わかちゃん）

6. 参考情報：FXLIの概況:

・企業の社員研修を企画、運営している会社です。内容は、新人研修、営業研修、サービス研修、管理職研修など多岐にわたります。
・従業員規模は約200名、東京、大阪、名古屋に拠点があり、売上規模で見ても、企業人教育の業界では、5番以内に入っています。
・モチベーションの高い社員が多いですが、仕事がたいへん忙しく、仕事を離れたテーマでのコミュニケーションは薄くなってきているように感じています。
・2006年までは好業績が続いていたものの、昨年横ばい、今年は景気後退の影響も受け、業績が思わしくない状況です。そのような中、親会社の富士ゼロックスが10月末、
グループ全体で、いわゆるリストラを行うことを発表し、12月から2月にかけて、社員全員が役員との個別面談をしていきます。会社からの一方的な解雇はないのですが、
個別面談を通じて、今後のキャリアについてあらためて考える時期にあたり、なんとなく、落ち着かず、不安な気持ちも抱えている社員が多いことと思います。
そんな状況の中、参加してくださった人たちには、純粋に、プレイバックで自分の気持ちを表現し、分かち合い、癒されてほしいと思っています。

参考資料　1. 企業実践活動の企画書

参考資料　1. 実践活動の企画書

時　間	内　容		担　当	進行シナリオ
17:00～	集合	14 階総合受付あてに入館 14 階コラボレーションルームCで最終打ち合わせ		※会場の電子看板を事前に手配する（朝子）
18:00～	会場設営	14 階セミナールーム1が会場 ・机をはけて椅子をならべる ・布と楽器を用意する（持参：はなちゃん、お願いします） ・名札シール、カラーペン、アンケートを用意する（朝子）		※18 時に会場が空き次第、準備に入る ※来場した方から、輪になって座ってもらう ※スーツの上着は脱ぐなどして、楽な体勢になってもらう
19:00～	オープニング	はじめの挨拶（ねらいの説明）と羽地先生のご紹介 羽地先生の挨拶	朝子 先生	【ねらい】新しいチラシに合わせて若干変更。再度、推敲 プレイバックシアターは、あるときは自分を語り、誰かの話に耳を傾け、感じたことを即興で表現する、つまり、誰かの体験をプレイバック（再生）して、みんなで味わう、そんな楽しい場です。 TVや映画には、いろんなかっこいいヒーロー、ヒロインが出てきます。でも、日常を生きている私たちの何気ない場面にこそ、本当のドラマがあるということを私はプレイバックシアターを通じて知りました。 ここでは、今日、ここにいる誰かの大切なストーリーをみんなで協力しあってわかちあっていきます。 皆さんは、日頃、とくにお仕事の中で、論理的に考えたり、明快に説明したりと、「考える」部分を多く使ってはいませんか？今日は、その逆です。「感じる」こと、直観やひらめき、「感性」「感覚」を大切に、心と身体すべてを使って素直に感じとり、表現していきましょう。 そうすることで、ほっとしたり、癒されたり、すっきりしたり、何か新しいことへの気づきがあるかもしれません。
		名札の説明　～　各自作って胸に貼る ※配布は、朝子と数名で。	先生	それでは、まずは、自己紹介からはじめたいと思いますが、その前に、それぞれ名札を用意しようと思います。　　※シールとカラーペンを配る ここでは、仕事の上下関係はいったん忘れてください。ニックネーム、子供の頃のあだ名、何でもいいので、ここでみんなに呼んでもらいたい名前を書いて胸に貼ってください。どうぞ好きな色のペンで書いてください。
		自己紹介　「今日への期待」を一言づつもらう	先生	では、初めての人もいますので、一人一言づつ簡単に自己紹介をしていきましょう。お名前と、この場に期待していることを一言お願いします。

参考資料　1. 実践活動の企画書

時　間	内　容		担　当	進行シナリオ
19:20～	マッピング	※椅子を外側にはける ①心の調子、身体の調子 　→3人／1グループで自己紹介＋エピソード ※切り口は、羽地先生にお任せします。	先生	最初に、今日の皆さんをお互いに知り合う簡単なエクササイズをしたいと思います。今日は、皆さん、身体の調子はどうですか？また、心の調子はどうでしょうか？ （マッピング） それでは、近くの人と3人でグループになって、お互いのエピソードを紹介しあいましょう。
		②最近忙しい、最近充実している 　→3人／1グループで自己紹介＋エピソード 　AさんBさんCさんへのプレゼント 　布、楽器を使った直観・ひらめきによる贈り物 ※切り口は、羽地先生にお任せします。	先生	もう一つ別のマッピングをしてみましょう。 今度は、「最近、忙しい、忙しくない」と「充実してる、充実していない」で見てみましょう。 （マッピング） では、別の人と3人でグループになって、今度もお互いのエピソードを紹介しあいましょう。 （シェアリング） 今度は、今聞いたエピソードをもとに、お互いに贈り物をしたいと思います。3人の中で、Aさん、Bさん、Cさんを決めてください。 では、Aさんに、他の二人から贈り物をしたいと思います。贈るものは、皆さんの直観、ひらめきでどんなものでも構いません。そのイメージを表現するために、布や楽器を使って自由に発想しましょう。
19:40～	身体ほぐし	①椅子を使ったその場のストレッチ ②ペアマッサージ 　「手をつないで、どっちが上？」など、気分もほぐしていく	はなちゃん	今は、布や楽器を使ったプレゼントでした。こんどは、それを相手のために劇で贈り物をしていきます。 その前に、少し身体をほぐしておこうと思います。 はなちゃん、身体ほぐしをお願いします。
19:55～	サウンド＆ ムーブメント	※再び椅子をはける 今週のある場面の自分を、短い動きと声で表現し、ここにいる全員（10～15 名を想定）で一緒に味わう ※まずコンダクターから始める ※終了後、みんなで椅子を観客席用に配列	先生	こんどは、今週のある場面の自分を、短い動きと声で表現して、みんなで味わいたいと思います。どんな場面でもよいので、ぱっと思い浮かんだ一コマの自分自身を表現してみましょう。

参考資料　1. 実践活動の企画書

時　間	内　容		担　当	進行シナリオ
20:05～	ストーリーⅠ （15 分）	コンダクター：先生 アクター： アクター： アクター： 音楽： ※アクターは、スタッフを中心に。 希望者がいた場合は加わってもらいサポートしていく。		皆さん、心も身体もかなりほぐれてきたので、ストーリーをやってみましょう。 ここに語り手、テラーの席をご用意しています。どなたか、何か話してみたいストーリーが浮かんでいる方、まだはっきりとは思い浮かんでいないけどなんとなく話してみたい方、どなたでも結構です。どなたか、ここへ来て、お話を聞かせてもらえませんか？聞かせてもらったストーリーを私たちは、即興で一生懸命演じてお返しします。 今、今週のある場面について思い浮かべて表現してもらいましたが、昔のことや、子供のころのことでも結構です。また、仕事のことでも、家族や友達とのこと、夢で見たストーリーでも、どんなことでも構いません。 なんとなく／とても気になっていること、大切にしている思い出、この季節になると思いだすことなど、どなたかいらっしゃいませんか？
20:20～	ストーリーⅡ （15 分）	コンダクター：先生 アクター： アクター： アクター： 音楽：		※Ⅱは、時間に応じて実施かどうか判断
20:35～	シェアリング （10 分）	今日まだ話していない、３人／１グループになる ２つのストーリーについてシェア	先生	今、二つのストーリーを見ました。今日、まだ話していない人同士３人でグループをつくって、今の気持ちや感想をシェアしたいと思います。
20:45～	クロージング	※輪で座る 「今日のこの時間は自分にとってどんな時間だったか」一人一言づつ話す （時間があれば）企業研修の事例を一言紹介	先生	名残惜しいですが、そろそろ時間になりました。 最後にみんなで、今の気持ちを一言づつ話しで終わりにしましょう。 今日のこの時間は、皆さんにとって、どんな時間でしたか？ （しめくくり）
21:00～	アンケート記入	※朝子が回収、参加者は記入後流れ解散		※オープンワークショップ（集いや寄り道など）の案内
～21:20	会場片付け			
	振り返り	※近所で食事しながら振り返りを行います。		

参考資料　1. 企業実践活動の企画書